

◇ 東京大学「高校生と大学生のための 金曜特別講座」参加

日 時 ○ 令和5年4月14日（金）～令和6年2月9日（金）

場 所 ○ 各生徒の自宅（オンライン講座）

参加者 ○ 高校（1～3年）・附属中学校（1年）希望生徒

＜夏学期＞ 31名（のべ81名） ＜冬学期＞ 8名（のべ20名）



📞 今年度も希望生徒たちが、「東大金曜講座」に参加しました。

タイトルの通り大学生も参加する講座だけに、難しい内容のものも多かったのですが（下記アンケートでは約69%の生徒が「難しかった」と回答）、しかし参加生徒は普段ではなかなか味わえない“知的刺激”を得ることができたと思います。

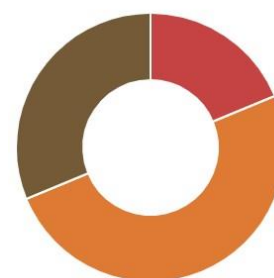
また、知の領域にはそもそも文系・理系というジャンル分けを軽々と越境してしまうような面白さがあることを再認識した生徒も多かったのではないのでしょうか。

本校では次年度も引き続き「金曜講座」に参加させていただきます。すでに「夏学期」の講座一覧もHP等で公開されていますが、令和6年度もたいへん豪華なラインナップとなっています。ポスターが届き次第掲示・案内を行いますので、生徒諸君は奮って参加してください。

＜生徒の感想から＞

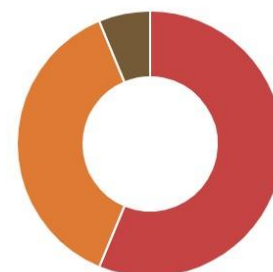
（Q1）講座の難易度について、どのように感じましたか。

- ・かなり難しかった … 18.75 %
- ・難しかった … 50 %
- ・自分自身にとって丁度良かった … 31.25 %
- ・比較的易しかった … 0 %
- ・易しかった … 0 %



（Q2）この講座への参加は、あなた自身にとって意義あるものとなりましたか。

- ・大いに意義があった … 56.25%
- ・意義があった … 37.5%
- ・どちらとも言えない … 6.25%
- ・あまり意義を感じなかった … 0%
- ・意義を感じられなかった … 0%



（Q3）この講座に関する感想・意見があれば、自由に記述してください

- ・化学や物理の系統の講義について、高校ではまだ習っていない内容であったり、知らない実験内容のグラフなどが出てきたとき、内容を理解するのが難しいと感じたことがあった。しかし、大学の研究などではこういう研究内容を扱ったり、こういう考え方をしたりするのだと、大学での講義や研究などについて視野が広がり、より理系の学問への関心が高まった。

- 大学での専門的な内容であっても、高校生でも分かるよう噛み砕いて説明してくださったり、わかりやすい例えをして説明してくださったりしたため、講義に楽しんで参加することができた。
- 講義を通して研究内容に興味を持ったことがあったため、研究内容に関する参考文献やおすすめの本などがあってから講義の中で紹介してほしい。
- 将来学びたい学問や行きたい大学について悩んでいたことがあったため、大学の教授が高校生の時に将来についてどんな事を考えていたかについてや、学びたい学問を考えるとどんなことをしていけばいいのかについてなど、進路研究に役立つ内容について、講義の途中などのちょっとしたお話の中だけでも良いので、お聞きできると嬉しいと考えている。
- 私は大学で栄養学について学びたいと考えているため、栄養学や食品学、調理学など、栄養に関する講義を増やしてほしい。栄養に関する講義があったら、積極的に参加したい。ぜひ、大学での研究内容や実際の講義の内容についてなど、どんなことを学べるのか知りたいと考えている。
- 自分にとって知らない分野の知識を持つことができました。ありがとうございました！
- 内容は専門的で分からないところもあったけれど、資料を多く見たり、興味深い話を聞いたりできたので、良い経験になったと思います。
- 勉強に関することだけでなく他分野を結びつけて考えさせられた講座だったのでとても面白かった
- 初めて知る情報がたくさんあって面白かったです。
- 難しかったが、興味のある分野だったので面白かった。今後の進路をどうすべきかの参考になった。
- 自分の知らない分野についても、授業を受けることができ、自分の興味がある分野が広がりました。
- その分野のことを詳しくわかりやすく教えて頂きとても楽しかった

<R5 夏学期：講座一覧>

- ① 4月14日（金） 晝間 敬 先生「敵か味方か？ 植物の病原菌にも共生菌にもなる微生物」
- ② 4月21日（金） 高山 大毅 先生「詩を学ぶ意義とは —「論語」解釈から考える—」
- ③ 4月28日（金） 小林 英津子 先生「生命を支える手術ロボットシステム」
- ④ 5月12日（金） 木下 華子 先生「『不思議』なる災害認識 —鴨長明「方丈記」を読む」
- ⑤ 5月19日（金） 芦原 聡 先生「『美しい赤外光』のもつ可能性：分子を観る・操る」
- ⑥ 5月26日（金） 今泉 允聡 先生「深層学習の原理に迫る —数学の挑戦—」
- ⑦ 6月2日（金） 杉森 玲子 先生「史料からみた地震・噴火」
- ⑧ 6月9日（金） 山崎 彩 先生「アウシュビッツから生まれたケンタウロスの話」
- ⑨ 6月16日（金） 塩見 美喜子 先生「小さなRNAは今日も奮闘中：同一ゲノムから細胞多様性を導くための戦略とは」
- ⑩ 6月23日（金） 阪本 拓人 先生「計算機で始める社会科学：紛争と危機のシミュレーションを中心に」
- ⑪ 6月30日（金） 小田 隆史 先生「災禍を伝え継ぐ『場所』の地理学」
- ⑫ 7月7日（金） 大関 洋平 先生「機械に人間らしく言葉を使わせるためには？」
- ⑬ 7月14日（金） 石原 孝二 先生「『障害の人権モデル』と精神医療について考える」

<R5 冬学期：講座一覧>

- ❶ 9月22日（金）藤井 光 先生「21世紀英語圏小説とその翻訳 ― 共感と断絶をめぐって」
- ❷ 9月29日（金）伊山 修 先生「漸化式とグラフと団代数」
- ❸ 10月6日（金）松井 裕美 先生「フランス美術を通して知る西洋の文化・歴史・思想」
- ❹ 10月13日（金）池田 昌司 先生「ガラスの不思議とその科学」
- ❺ 10月20日（金）館 知宏 先生「折る・詰む・編む：かたちがつなぐ STEAM 協働」
- ❻ 10月27日（金）渡邊 祥子 先生「多角的に史実を見る：北アフリカ植民地史研究の現場から」
- ❼ 11月10日（金）土居 守 先生「星の爆発で宇宙の膨張を測る」
- ❽ 11月17日（金）阿部 光知 先生「季節に応じて植物が花を咲かせるしくみ」
- ❾ 12月 1日（金）都築 怜理 先生「次世代航空宇宙モビリティのための新しい流体科学の創出を目指して」
- ❿ 1月19日（金）藤崎 衛 先生「西洋中世に発明されたあの世 ― 煉獄（れんごく）とは何か」
- ⓫ 1月26日（金）速水 淑子 先生「アマゾネス文学を読む：物語との対話」
- ⓬ 2月 2日（金）石坂 香子 先生「光と電子の顕微鏡：速くて小さいモノをどうやって見るか？」
- ⓭ 2月 9日（金）寺田 新 先生「トップアスリートの食事の秘密」

